

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0605	1 重-8	栄養・食生活に関する教育・相談の実施 両親学級・乳幼児健診・離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施し、家庭の食生活での食育の取り組みを推進する。	継続	健康課	継続	ファミリー学級・乳幼児健診・育児クラス、離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施。
0702				保育課	実施	ファミリー学級・乳幼児健診・育児相談・離乳食講習会などで栄養、食生活に関する相談や教育を実施した。妊婦さんの離乳食講習参加もあった。
0402	2 重-10	地域や家庭における食育の推進 農業マップの作成や農産物の販売、農業景観散策での地域農家と市民の交流事業等を、西東京市食育推進計画に基づき総合的に推進する。また、学校での地場野菜の活用を通じて、食の安全や農業について関心を深める。	継続	産業振興課	実施	・「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。参加者は、親子20組40名。 ・イベント「野菜大好きクッキング」を実施。参加者は、親子3組6名。 ・イベント「農業わくわく散策会」を2回実施。参加者は、延べ30名
1502				学校運営課	継続	地場野菜を給食で使用し、生産者が野菜について学校で話したり、児童がとうもろこしなどの皮むきや、そら豆のさや出しを体験し、食への関心・知識を深めた。児童・保護者を対象に親子料理教室などを実施した。学校給食運営審議会において学校給食への地場産農産物使用に当たっての現状の課題についての検証を行った。
0605				健康課	充実	庁内「西東京市食育推進会議」及び「同作業部会」で検討を行い、第2次食育推進計画の策定を行った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0605		<p>子育てに関する学習機会の充実</p> <p>妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。</p>		健康課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー学級(1コース2日間)を全て土曜日を含むコースにし、夫婦で参加しやすい環境を整え、「家庭」や夫婦・親の役割をイメージしながら子育てについて準備できるように支援する。 誕生直後の児の特徴を夫婦で学ぶことで、子供を含めた家庭のイメージが持てるよう工夫していく。
1603	3 重-8	(再掲)3-2-2-(1)、3-2-2-(2)、4-2-1	継続	公民館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 9講座 総計151回 延べ1,663人 ・保育付のサークル28団体の活動の支援、総計407回 ・保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」7回 親子37組 ・情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施
0701				子育て支援課	検討	検討
0704				子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催し、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。 ・2か所の子育て広場において図書等を活用した事業を実施した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 織改正	25年度	
				担当課	実績	具体的な取組内容
0704	4	父親の育児参加の推進 子育ての男女共同参画を推進するため、男性が育児休業や子育て休暇をとりやすい職場環境づくりや育児休業法の周知徹底、企業に対する啓発を図る。 男性の育児や家事への参画を促すため、男性への学習機会や情報の提供を推進する。そのために、男性が参加しやすい企画や事業を、実施曜日や時間帯等を考慮しながら実施する。 (再掲)3-2-2-(1)、4-1-1	継続	子ども家庭支援センター	継続	・2か所の子育て広場で、父親参加の交流事業を12回実施し、延445人が参加した。
0404				協働コミュニティ課	継続	「男女共同参画週間」のイベントとして、仕事も家庭も充実する生き方をテーマにワーク・ライフ・バランスの講演会を平成25年7月20日(土)に開催。参加者23名 また、パパの絵本ライブを平成25年8月25日(日)に開催し、53人参加。育面力アップ講座を平成25年10月20日(日)に開催し、16人の参加があった。 さらに、パリテまつり平成26年2月2日(日)でパパの初めてのバルーンアート講座が開催され、30人参加。
1603				公民館	継続 試行	「育(イク)メンパパとクッキング～元氣やさいの夏料理～」を実施し、父と子15人が参加した。
				健康課	継続	ファミリー学級 1コース2日間16回開催(2日目土曜日開催)先輩パパの話。および、妊娠届出時に父親ガイドブックを渡した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	25年度	
				担当課	実績	具体的な取組内容
0404	5	子育て意識の啓発の推進 第2次男女平等参画推進計画の中の「父親の育児休業の取得に向けた啓発」等の徹底と連携しながら、子育ての責任が果たせるよう支援する事業の展開を図るとともに、親の気持ちや意見を子どもたちに届ける場、機会づくりをすすめる。	継続	協働コミュニティ課	継続	西東京市男女平等参画情報誌「パリテ」で、「ワーク・ライフ・バランス」について特集すると共に、男の料理指南は連載し、子育て意識の啓発を行った。
1603				公民館	継続 試行	・「育(イク)メンパパとクッキング～元気やさいの夏料理～」を実施し、父と子15人が参加した。 ・土日 10講座(父親参加が可能な子育て・教育関連事業)
0701				子育て支援課	検討	検討
0704				子ども家庭支援センター	継続	・2か所の子育て広場において、父親支援事業を行い、父親が来所しやすい場を提供した。 ・専門スタッフのさりげない働きかけの中で、子育て・育児参加の意識の啓発を行った。
0402	6	労働時間短縮(勤務時間短縮等の周知・支援)の推進 家庭での子育ての重要性を認識し、家族が一緒に過ごす時間が多く持てるよう、労働時間の短縮についての企業啓発、さらには実施企業への支援を推進する。 (再掲)4-1-1	継続	産業振興課	未実施	所管部署からの依頼はなし。
0703	7	地域の子育て意識の醸成 個々の家庭、幼稚園・保育園、学校だけでなく、地域で子どもを育てるという意識を高めるための活動を、青少年育成会等と連携しながら推進する。 (再掲)4-4	継続	児童青少年課	継続	地域の関係機関や市民団体等が関わりながら実施する青少年育成会等の事業を支援した。
0701				子育て支援課	検討	調査・研究

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-1 子育ての支え合い意識

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0704	1	ファミリー・サポート・センター事業の充実 仕事と育児の両立や、在宅で子育てをしている家庭への支援の環境整備の一環として、保育ニーズに対応した相互支援体制を充実するため、ファミリー・サポート・センターに関する情報をわかりやすく提供する方法、利用規則の改善や障害児利用の充実、サポート会員の養成プログラムの内容および方法の充実を総合的に再検討する。 市内施設(保育園・幼稚園・学童クラブ等)と連携して、不安なくファミリー・サポート・センターを利用できるようにするための広報を実施する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・ファミリー・サポート・センター事務局との連絡会議を実施し、相互理解を図った。 ・サポート会員ステップアップ研修で子どもの事故防止と応急手当について学び、21人が出席した。 ・サポート会員連絡会を1回実施し、34人出席した。
2002				社会福祉協議会	実施	・市からの委託を受けて実施 ・ホームページに「会員のしおり」を掲載 ・ステップアップ講習会「救命救急」を実施 ・全体交流会を実施 ・交流会・養成講習会のあり方について検討(他市の聞き取り)
2002	2	高校生、大学生のボランティア活動支援事業の推進(再掲) 子どもと同じ目線で子どもや子育て家庭を支援する、高校生、大学生のボランティア活動支援事業を推進する。 ◆詳細は、2-3 に同じ (再掲)2-5		社会福祉協議会		
0701				子育て支援課		
0703	3	インターンシップ制度による高校生、大学生の子育て体験の充実(再掲) インターンシップ制度を活用し、高校生、大学生による子育てに関わる職業体験を充実する。 ◆詳細は、2-3 に同じ (再掲)2-5		児童青少年課		
0702				保育課		
0404	4	子育ての仲間づくり、子育てNPO・グループ等の支援の充実(再掲) 市民協働推進センターと地域活動情報ステーションを核として、「子育てひろば」などから生まれた親子グループの自主的な活動の支援や、学童クラブの午前開放など、場所と情報の提供により、子育て中の親たちが気軽に集い、打ち合わせ、情報交換できる場づくりに努める。 子育てサービスの提供機会を増やしその選択肢を広げるため、子育てNPOや子育てグループ等の活動環境を充実させる。 ◆詳細は、1-2-1 に同じ		協働コミュニティ課		
0702				保育課		
0704				子ども家庭支援センター		
0703				児童青少年課		
2002				社会福祉協議会		
1601	5	地域の人材発掘・活用の推進(再掲) ◆詳細は、1-2-1 に同じ (再掲) 4-3		社会教育課		
2002				社会福祉協議会		
2003				シルバー人材センター		
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育てに関する支え合いの状況（1）学習の機会

				22.4月組 織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0703	1 重-3	プレイリーダーの養成と活用(再掲) プレイリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 ◆詳細は、1-2-1 に同じ (再掲)1-2-2、4-4	/	児童青少年課	/	/
1601				社会教育課	/	/
0605	2	子育てに関する学習機会の充実(再掲) 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。 ◆詳細は、3-1 に同じ (再掲)3-2-2-(2)、4-2-1	/	健康課	/	/
1603				公民館	/	/
0701				子育て支援課	/	/
0704				子ども家庭支援センター	/	/
0701	3	幼稚園、保育園における子育てに関する学習の機会の検討 幼稚園・保育園での父母会とともに、これから子どもを持つ人に子どもの育ちを体験してもらうため、幼稚園・保育園での実際の子どもたちとのふれあいを中心とした父母教室の開催を、母子保健と連携して推進する。	新規	子育て支援課	検討	検討
0702				保育課	実施	子育て広場事業で実施している「赤ちゃんのつどい」、「離乳食講習会」に積極的に参加してもらった。各センターで年4回開催
0605				健康課	検討	特に実施なし
0704	4	家庭教育支援事業の推進(再掲) 親自身が親役割を理解し、主体的に家庭教育に取り組んでいく力をつけていけるよう、学校・保育園・幼稚園・児童館・学童クラブ・公民館等が連携し、家庭教育支援事業に取り組む。 また、家庭の教育力を高める方策の一つとして、家族それぞれが多様な形で参画可能な事業展開を推進する。 ◆詳細は、1-1-2に同じ	/	子ども家庭支援センター	/	/
0702				保育課	/	/
0703				児童青少年課	/	/
0605				健康課	/	/
1603				公民館	/	/

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育てに関する支え合いの状況（1）学習の機会

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0704	5	父親の育児参加の推進(再掲) 子育ての男女共同参画を推進するため、男性が育児休業や子育て休暇をとりやすい職場環境づくりや育児休業法の周知徹底、企業に対する啓発を図る。男性の育児や家事への参画を促すため、男性への学習機会や情報の提供を推進する。そのために、男性が参加しやすい企画や事業を、実施曜日や時間帯等を考慮しながら実施する。 ◆詳細は、3-1 に同じ (再掲)4-1-1	/	子ども家庭支援センター	/	/
0404				協働コミュニティ課	/	/
0605				健康課	/	/
1603				公民館	/	/
1604	6	読み聞かせリーダー育成事業の推進(再掲) 子どもが本に親しみ、読書にいそむきっかけとなる「読み聞かせリーダー」の育成に努める。 ◆詳細は、1-2-2 に同じ	/	図書館	/	/

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育てに関する支え合いの状況（2）交流

					22.4月組 織改正	25年度	
所管 課番 号	番 号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容	
0703	1 重-3	「遊びの学校」事業の検討・実施(再掲) 現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施する。 実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い・遊び・学べる場所とするためにプレリーダーを配置していく。 ◆詳細は、1-2-2 に同じ (再掲)4-4	継続	児童青少年課	実施		
1601				社会教育課	実施		
0704	2 重-11	子ども総合支援センターにおける子育てグループの活動場所の充実と活動の推進 子ども総合支援センター内の活動室について、子育てサークルや子育て関連のボランティアによる利用の実態を把握し、より使いやすい場所になるような工夫を図っていく。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・子育てグループ活動室の利用が進み、延411グループが利用し、活動した。 ・子育てグループ活動室利用団体に対して、子育てハンドブックサークル情報への掲載を促した。	
0702	3 (再掲)4-4	園庭開放の推進 乳幼児とその親の交流と遊び場づくりのため、保育園の園庭開放を推進し、一層の充実を図る。	継続	保育課	実施	基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を実施し、子育て家庭の支援を行った。延べ利用数28,400人の参加があった。 園庭開放時のマニュアルを作成した。	
0605	4	子育てに関する学習機会の充実(再掲) 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。 ◆詳細は、3-1 に同じ (再掲)3-2-2-(1)、4-2-1	継続	健康課	実施		
1603				公民館	実施		
0701				子育て支援課	実施		
0704				子ども家庭支援センター	実施		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（2）交流

				22.4月組 織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0702	5	乳幼児とふれ合う場づくりの推進(再掲) 小・中・高校生と乳幼児とのふれ合い活動や、遊びのボランティア、ベビーシッター活動を通じて、異年齢の子どもたちの交流をすすめる。保育園や幼稚園などが主催する行事に、小学生・中学生・高校生などが参加できるように促進する。小学校・中学校・高校の授業等の中で、幼稚園や保育園の訪問やボランティアなどを推進する。 ◆詳細は、2-1 に同じ (再掲)4-1-1	/	保育課	/	/
1503				教育指導課	/	/
0701				子育て支援課	/	/
0704	6	子育てひろば事業の充実 のどかひろば、ピッコロひろば、保育園、児童館で実施している子育てひろば事業を充実し、多様なニーズを抱える利用者により幅広く応えていける広場運営に努める。活動室の貸し出しなどを通じて市民との連携を深める。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・のどか広場利用者は延25,707人、ピッコロ広場利用者は延29,275人だった。 ・父親支援事業を12回行い、延445人が参加した。 ・0歳児とその保護者を対象とした事業を10回実施した。 ・2か所の子育て広場において、図書等を活用した事業を21回実施した。 ・子育てグループ活動室について、延411グループが利用した。
0703				児童青少年課	継続	・市内全児童館における子育て支援に係わる事業を引き続き実施。 ・基幹型保育園との連携事業も定期的実施。
0702				保育課	実施	市内保育園において子育て支援に係わる事業を定期的実施した。 また、児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的実施した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（3）相談

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0704	1 重-9	相談に関する情報提供の充実 市報や市のホームページでの情報提供、インターネット活用、子育て施設等での相談に関する情報提供を継続して進めるとともに、青少年も含めた子ども・子育てに関わる情報の一元化を図るよう検討していく。 また、ITネットワークを活用した子育て家庭の相互交流活動の活性化について検討する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・市報、ホームページ、リーフレット、子育てハンドブック等で子育て支援関連の情報を提供した。 ・子育て関連の情報を掲示し、問い合わせがあった際には電話等で情報提供した。
0605				健康課	継続	市報、ホームページ、リーフレット等を通じ、支援関連の情報を周知する。 各種健診や相談、訪問、電話相談等の機会に積極的に子育てに関する情報提供に努めた。
1999				関係各課		
0604	2 重-14	障害のある子どもの療育・教育相談事業の推進 電話・来所・巡回等、多様な形態での療育や教育に関する相談を推進する。 早期から障害児の相談を受けるとともに、就学相談を適切にすすめられるよう、こどもの発達センター(子ども家庭支援センター)、幼児施設など関係機関とより一層の協力・連携を図る。 就学後も、相談事業の継続と支援の充実を図る。 乳幼児期からの成長過程に応じて、切れ目ない支援を実施できるよう制度改善を実施する。 (再掲)4-1-2	継続	障害福祉課	継続	電話・来所の相談、また関係各機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図った。
0704				子ども家庭支援センター	継続	発達支援コーディネーターを中心に、年間200件以上の電話、来所相談をおこなった。希望する幼稚園、保育園には年38回園訪問を実施し、タイムリーな相談支援を行なった。就学に際しても希望者全員に就学支援シートを作成し、特別支援学級、特別支援校に対しては児童の引継ぎを行った。
1505				教育支援課	実施	幼児・児童・生徒の学習や生活で不安のある保護者からの相談を受け、市立小・中学校の固定制の特別支援学級や都立特別支援学校への就学・転学相談、通級の入級相談等を行った。巡回相談、教育支援アドバイザーを市立小・中学校に派遣し、教育支援ツールを活用して個に応じた教育支援の充実を目指した。全市立保育園にも教育支援アドバイザーを派遣し、早期対応への支援や、就学支援シートの活用による幼児期からの連続した支援を目指した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（3）相談

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0704		育児・子育て相談事業の充実 母子保健事業の育児相談の充実、とりわけ訪問相談の充実を図る。子ども総合支援センター、地域子育て支援センター、保育園、児童館など、多様な場所で行われることになる子育て相談事業との役割分担と協働を推進する。各機関での相談が断片的な内容になることを防止するため、関係機関の連携を実施する。 地域の子育て経験者（先輩パパ・ママ）による子育て相談の実施を検討するとともに、中高生やその保護者のための相談体制を充実する。 新生児期からの訪問や健診事業などにおいて連絡を取ることができなかった家庭に対しては継続的な働きかけを実施する。		子ども家庭支援センター	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して、子育て家庭への支援に努めた。月曜日～土曜日まで相談を実施し（土曜日は電話相談のみ）、新規相談585件、活動延べ数16,734件。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携しながら、保護者の相談に応じた。 ・小中学生向けリーフレット等を配布し、子供家庭相談窓口の啓発に努めた。
0605	3 重- 15	(再掲)3-2-2-(4)、4-2-1	継続	健康課	継続	ファミリー学級やこんにちは赤ちゃん訪問等の機会を利用し、早期から育児や健康について相談先を周知するとともに、関係機関とも連携しながら継続して支援できるよう努めた
0702				保育課	実施	関係する機関（健康課、子ども家庭支援センター、児童館、学童クラブ等）と連携した。 基幹型年間延べ利用数 28,400人
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館における子育て支援に係わる事業を実施した。
0704		子育て相談担当者の研修事業の充実 保健・福祉・教育等、さまざまな機関における子育て相談担当者の研修を充実する。		子ども家庭支援センター	継続	相談担当者のスキルアップを図るため、児童福祉司任用資格の取得を行った。東京都主催の子ども家庭支援センター職員研修を受講した。
	4		継続	健康課	継続	症例検討会の実施 年12回 症例検討会の一環として、母子保健事業従事者を対象に、講習会を実施
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育てに関する支え合いの状況（4）情報

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0103	1 重-9	子育て家庭への情報提供の充実 市報、市のホームページ、パンフレット、リーフレット、機関誌などを通じて、子育てNPO・グループや幼稚園・保育園・学校などの子育て情報を充実する。 (再掲)4-1-1	継続	秘書広報課	実施	担当課からの依頼により、子育て家庭への情報を市報、ホームページなどの広報媒体の特性を活かした情報発信を行った。イベント情報については、ツイッターでの情報提供を継続的に実施した。
0702				保育課	実施	市HPに認可保育所の欠員状況とともに、毎月20日と1日に認証保育所の空き状況の掲載をおこなった。 ・認可保育所、認可外保育施設の各案内冊子の作成、子育て支援センターのPR誌の発行。 ・市HPに基幹型保育園の講座情報を掲載
0701				子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行
1999				関係各課		
0403	2	外国語による広報活動の充実 生活に関わる内容のパンフレットについて、市民・NPOの協力を得て、平易な日本語での記載や外国人登録者数の変化に応じた言語をカバーする等、継続的な推進を図る。	継続	文化振興課	実施	平易な日本語及び英語・中国語・ハングルによる生活便利帳を発行。4,000部。 市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行予定。毎月560部。
0605	3	救急医療情報提供の充実 市報や市のホームページを通じて、救急医療情報の提供を充実する。	継続	健康課		市報や市のホームページ、年1回全戸配布の西東京市健康事業ガイド、窓口で配布している西東京市医療マップに、休日の応急診療情報を掲載した。
0704	4 重-8	育児・子育て相談事業の充実(再掲) 母子保健事業の育児相談の充実、とりわけ訪問相談の充実を図る。子ども総合支援センター、地域子育て支援センター、保育園、児童館など、多様な場で行われることになる子育て相談事業との役割分担と協働を推進する。各機関での相談が断片的な内容になることを防止するため、関係機関の連携を実施する。地域の子育て経験者(先輩パパ・ママ)による子育て相談の実施を検討するとともに、中高生やその保護者のための相談体制を充実する。新生児期からの訪問や健診事業などにおいて連絡を取ることができなかった家庭に対しては継続的な働きかけを実施する。 ◆詳細は、3-2-2-(3) に同じ (再掲)4-2-1		子ども家庭支援センター		
0605				健康課		
0702				保育課		
0703				児童青少年課		
0701	5	子育てハンドブックの充実、子育て施設・遊び場マップ等の検討 西東京市子育てハンドブックを充実させる。また、子どもたちが遊べる施設や場所等の情報を掲載した「子育て施設・遊び場マップ」について検討する。	新規	子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行